



# 伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

平成 25 年 9 月 20 日発行

第 4 号

## ご挨拶



同窓会長 小坂 博子

会員の皆様には同窓会活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで昨年度よりスタートさせていただきました同窓会年会費を、集金させていただくことができました。心より御礼申し上げます。皆様よりお寄せいただきました尊い会費は、目的としてきました母校の更なる飛躍を図る中で、今後の同窓会活動並びに支部の皆様のご意見をお聞きしながら、よりよい活動への原資とさせていただきます。

さて母校では、102年の伝統のもと「文武両道」同窓の方々が確固たる実績を築き、あらゆる分野で活躍しております。

去る平成 25 年 7 月 22 日、あまりにも突然の出来事でございしましたが、南島信平校長先生が急死され、現実を受け入れることができず、未だに信じられません。深い悲しみの中、同窓会としての弔慰を表させていただきました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 訃報



前伊那弥生ヶ丘高等学校長であり、同窓会顧問の南島信平先生が平成 25 年 7 月 22 日、ご病気のため 56 歳で急逝されました。

先生の国会へのご尽力に心より感謝申し上げます。謹んで冥福をお祈り申し上げます。

## 南島信平校長先生の思い



学校長 大森 清幸

今年の夏は、まさに「酷暑」と言うにふさわしい、堪え難いほどの厳しき暑さでしたが、同窓の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、多大なるご支援を賜りますことに厚く御礼申し上げます。

去る平成 25 年 7 月 22 日（月）に、本校の校長、南島信平先生が急逝されました。突然のご逝去でしたので、生徒・職員一同、深く悲しみました。このような時こそ、みんなで手を取り合って学校を守っていかねばならないと思っております。

南島信平校長先生は、伊那弥生ヶ丘高校の第二十八代校長として赴任されました。何度も長野県教育委員会事務局にご勤務され、長野県全体の教育行政に携わってこられました。そのご経験を生かし、伊那弥生ヶ丘高校の充実・発展にご尽力されていた矢先のことでした。

南島信平校長先生は、伊那弥生ヶ丘高校に赴任されることになった時、とても喜んでおられたそうです。そして、赴任されてからは教育委員会事務局におられた時以上にこやかな顔をされていたと、ご家族の方々がおっしゃっていました。私も南島校長先生が「弥生の子供たちは、良い子たちだ」「弥生の子供たちと接していると楽しい」「弥生の子供たちは力がある」と、おっしゃっているのを幾度となく伺いました。

南島信平校長先生は、そうした良き資質を持つ弥生の子供たちをどのように育てていったらよいか、弥生の子供たちにどのような力を付けさせたらよいか、常に考えておられました。弥生の校是である「自主自律」「文武両道」を今の弥生生にどのような形で植え付けたらよいか、また他校に劣らぬ実力と自負を持った弥生生として逞しく育ててほしい、という並々ならぬ思いを持っておられました。

私ども職員一同、志半ばにして亡くなられた南島信平校長先生の思いを受け継ぎ、伊那弥生ヶ丘高校のために尽力する所存です。

同窓の皆様におかれましては、今後とも本校へのご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



校庭から南アルプスを望む風景を描く

伊那弥生ヶ丘高校  
創立 80 周年記念  
平成 3 年 10 月 12 日  
宮田 三郎氏（版画）



◆平成24年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業報告◆

■ 事業

事業名	内容
会報発行	・H24.11.27発行、全会員へ配付
同窓会活動支援	・会費集金額の2割を還元し、支部活動の支援を行った。
母校の教育活動支援	・全国大会出場クラブ激励金 陸上個人 弓道個人 器楽 ・卒業生への記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈 276冊 ・教育設備の寄贈

■ 会議等 ○ 総会1回 ○ 支部長会4回 ○ 理事会9回

◆平成25年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業計画◆

■ 事業

事業名	内容
会報発行	◇年1回発行 ・会員に関心と理解を深めてもらうことを目的に同窓会の活動や支部の様子、学校の近況等を掲載する ・全会員へ配付する。
総会の充実	◇運営や周知方法、内容の充実等について検討する(平成26年度総会より) ・より多くの会員に関心をもって出席してもらえらるための周知方法の検討 ・同窓会活動の充実、発展に結び付くような講演会、音楽会等の企画
会則の見直し	◇組織の役割を明確化し、より機能させるため見直しを行なう
支部活動支援	◇会費を集金した支部について、その額の20%を還元し、組織の充実等の資金として活用できるよう支援を行なう ◇支部組織を確立するための支援を行なう
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援 ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生への記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈

■ 会議等 ○ 正副会長会 同窓会業務推進等全般について検討する  
○ 理事会 同窓会活動を推進する  
必要に応じて、順次専門委員会を設置し、課題解決、効果的な活動の推進を行なう  
○ 支部長会 各支部長により構成し、年1～2回開催する  
○ 総会 年1回開催し、事業、決算等の承認を行う

※理事会内に委員会を設置し、組織のあり方、活動の充実について検討を進めていきます。

## 平成24年度伊那弥生ケ丘高等学校同窓会 決算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収 入 10,443,013円  
支 出 7,069,091円  
差 引 3,373,922円 (次年度へ繰越)

### 収入の部

単位円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 繰越金	1,374,644	1,374,644	0	前年度より
2 会 費	4,220,000	8,995,520	4,775,520	
1 会費	3,000,000	7,775,520	4,775,520	会員@1,000円×7,658人
2 入会金	1,220,000	1,220,000	0	新入生244名@5,000円
3 雑収入	356	72,849	72,493	預金利息、寄付
合 計	5,595,000	10,443,013	4,848,013	

### 支出の部

単位円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 事務費	1,542,000	1,370,315	△ 171,685	
1 報酬	832,000	812,000	△ 20,000	事務局職員賃金
2 事務用品費	150,000	90,535	△ 59,465	文具等
3 光熱費	60,000	44,251	△ 15,749	電気、ガス等
4 通信費	250,000	163,749	△ 86,251	郵送料、電話使用料等
5 印刷費	200,000	122,010	△ 77,990	各種印刷
6 雑費	50,000	137,770	87,770	振込手数料等
2 交際費	150,000	172,000	22,000	祝儀、香典、饞別他
3 会議費	200,000	31,360	△ 168,640	支部長会他
4 旅 費	150,000	116,260	△ 33,740	支部長会、関東支部総会
5 事業費	2,940,000	2,791,366	△ 148,634	
1 総会費	500,000	242,549	△ 257,451	懇親会補助、当番生お礼等
2 講演会費	100,000	89,965	△ 10,035	総会講演会
3 会報発行費	800,000	165,668	△ 634,332	印刷費、会議費
4 会報発送費	300,000	421,184	121,184	郵送料
5 支部活動費	600,000	1,263,600	663,600	支部活動支援
6 記念品費	140,000	110,400	△ 29,600	卒業生卒業証書ホルダー
7 クラブ関係費	500,000	498,000	△ 2,000	全国大会出場祝他支援
6 広告費	100,000	87,790	△ 12,210	新聞広告代
7 予備費	513,000	2,500,000	1,987,000	基金積立
合 計	5,595,000	7,069,091	1,474,091	

平成25年4月24日 監査の結果正確且つ適正に処理されていることを認めます。

監事 佐々木 はま子  
監事 小 松 富美子

※会費を集金させていただくようになったおかげで、支部活動充実のための支援、母校への支援等が少しずつ実現されてきました。



## 平成25年度伊那弥生ケ丘高等学校同窓会一般会計 予算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収 入 7,594,930円  
支 出 7,594,930円  
差 引 0円

### 収入の部

単位円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 繰越金	3,373,922	1,374,644	1,999,278	前年度より
2 会 費	4,220,000	4,220,000	0	
1 会費	3,000,000	3,000,000	0	会員@1,000円×3,000人
2 入会金	1,220,000	1,220,000	0	新入生@5,000円×244人
3 雑収入	1,008	356	652	預金利息他
合 計	7,594,930	5,595,000	1,999,930	

### 支出の部

単位円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 事務費	2,710,000	1,542,000	1,168,000	
1 報酬	1,200,000	832,000	368,000	事務局職員賃金
2 事務用品費	150,000	150,000	0	文具等
3 光熱費	60,000	60,000	0	電気、ガス等
4 通信費	500,000	250,000	250,000	郵送料、電話使用料等
5 印刷費	400,000	200,000	200,000	各種印刷
6 雑費	400,000	50,000	350,000	振込手数料等
2 交際費	180,000	150,000	30,000	祝儀、香典、饞別他
3 会議費	100,000	200,000	△ 100,000	支部長会他
4 旅 費	150,000	150,000	0	支部長会、関東支部総会
5 事業費	3,540,000	2,940,000	600,000	
1 総会費	500,000	500,000	0	懇親会補助、当番生お礼等
2 講演会費	100,000	100,000	0	総会講演会
3 会報発行費	1,100,000	1,100,000	0	印刷費、会議費
4 支部活動費	600,000	600,000	0	支部活動支援
5 記念品費	140,000	140,000	0	卒業生卒業証書ホルダー
6 クラブ関係費	100,000	500,000	△ 400,000	全国大会出場祝他支援
7 教育活動支援費	1,000,000	0	1,000,000	教育諸活動支援
6 広告費	120,000	100,000	20,000	新聞広告代
7 予備費	794,930	513,000	281,930	
合 計	7,594,930	5,595,000	1,999,930	

## 平成25年度伊那弥生ケ丘高等学校同窓会基金積立会計 予算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収 入 2,501,000円  
支 出 0円  
差 引 2,501,000円

### 収入の部

単位円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 繰越金	2,500,000	0	2,500,000	前年度一般会計より
2 雑収入	1,000	0	1,000	預金利息他
合 計	2,501,000	0	2,501,000	

### 支出の部

単位円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 繰出金	0	0	0	
合 計	0	0	0	

## 同窓会だより

### ◇45 回生同期会

平成 25 年 5 月 25 日、JA 上伊那本所フラワーホールにて卒業 20 周年を記念して同期会を開きました。

全国各地、海外から約 150 名余の同期生が集まり、駆けつけてくださった恩師を囲んでの盛大な会となりました。20 年ぶりに仲間と歌った校歌（前もって歌えるように YouTube で UP）と共に、同期生との変わらぬ友情はこれからも活力の源となっていくことでしょう。



### ◇諏訪郡内同窓会（代表幹事 高校 13 回 小島宏子）

平成 11 年に始まり今回 8 回目を迎えた諏訪郡内同窓会が、平成 25 年 6 月 30 日、諏訪市「ベルシャイン」にて行なわれ、高女 32 回生から高校 23 回生までの 38 人が出席しました。開催にあたっては名簿の見直しを行ない諏訪地方に 415 名の同窓生がいることも分かりました。なるべく大勢の方に参加してもらえるよう期日や会費の設定や地元新聞への記事掲載等様々な工夫を行ないました。

当日懇親会では、はじめに記念写真撮影をし、乾杯を出席者の内の一番先輩にお願いし、食事をしながら一人ずつ近況をお話いただき、懐かしい校歌を歌ったり現校歌の CD を聞いたり和やかな雰囲気に包まれました。高女 33 回生の方々からは戦時中の名古屋への学徒動員当時の苦勞、爆撃で同級生を一人なくされた悲しみ、当時の生徒を思う校長先生のことなどを話してくださり、いまでも固い絆で結ばれていることに驚き、また凛とした先輩方の姿に敬服しました。

近所であったり、顔見知りであっても「弥生だったんだね」と同窓生である喜びを確かめ合う光景が見られ大変嬉しいことでした。また、はじめてあった先輩方とも親しく話すことができ同窓会の素晴らしさを痛感した会でもありました。

ただ、出欠席の返事のない人も多く、さびしく思いました。

### ◇いのちありて上映

母校の前身、伊那高女 33 回生の学徒動員の記録ドキュメンタリー映画「いのちありて」（後藤俊夫監督作品）が、平成 25 年 8 月 4 日に、伊那市創造館で上映されました。

太平洋戦争の真ただ中、その激流に飲み込まれた私達の先輩と、命をかけた教師と父母たちのドキュメンタリーです。この作品を通して事実と知り、後世に伝えていっていただきたいと思ひます。

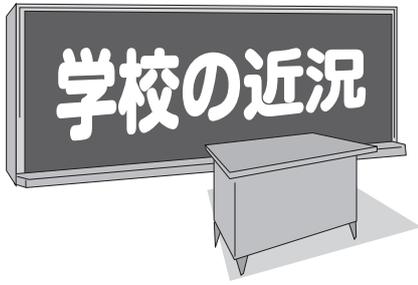
※伊那図書館で DVD の貸し出しを行なっていますので、ご希望の方はご利用ください。

### 平成 25 年度会費納入のお願い

平成 24 年度より、会員の皆様に会費の納入をお願いしています。会費は同窓会のより充実な運営、母校への教育及び諸活動の支援等に活用させていただきます。百年の歴史にふさわしい活動ができる体制を確立し、その役割を果たしていくために趣旨をご理解いただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 1 金 額：年会費 1,000 円
- 2 納入方法：・上伊那各支部：支部役員が訪問しますのでその際に納入してください。  
・上記以外：同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。（手数料は同窓会負担）
- 3 納入期間：平成 25 年 12 月 20 日までをお願いします。

※なお、80 歳以上の会員の方は名誉会員とし、会費の納入は任意とさせていただきます。



## ◆平成25年度クラブ活動の状況

全国高校総合体育大会において弓道部女子個人が3位、全国高校総合文化祭において書道部が努力賞、全国高校ギター・マンドリンフェスティバルにおいて器楽部が努力賞となる等素晴らしい成績を収めているほか、多くのクラブが様々に活躍しています。

### ★今号より各クラブの紹介を順次行ないます★

#### 弓道部

3年 池戸 直人

弓道部は53人の部員で活動してきました。男女学年を問わず仲がよかったので、道場内は笑顔が絶えず、いつもよい雰囲気の中で部活動をしてきました。

私たちは、県大会優勝を目標に、顧問の北嶋晋先生のもと、練習に励んできました。部活動は基本的に毎日放課後に行い、矢を撃たない日をできるだけ作らないようにしてきました。というのも、弓道は一日休むと感覚が鈍ってしまうからです。また、部活動だけでなく、弓道部は自主練習も活発に行ってきました。一人一人が弓道に対して高い向上心を持ち切磋琢磨し、努力してきたから成長することができたと思っています。また、仲間の存在がなければここまで弓道に打ち込めなかったと思います。仲間と共に笑い、悩み、一緒になって考えてきたからこそ続けられたのであり、その存在の大切さを一番強く感じる事ができました。



#### 書道部

3年 穂苺 祐奈

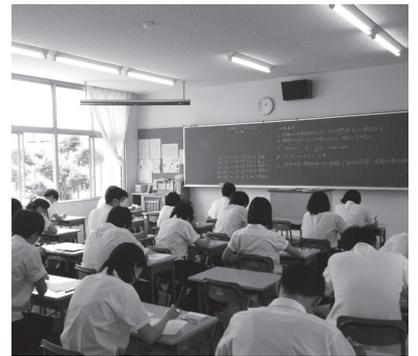
私は昨年富山で行われた総文祭の作品を見てから、私もこんな作品を書いてみたい、自分の力を試してみたいという思いを持つようになりました。今回特別賞を頂いた作品の制作は、昨年の10月から始めましたが、思うように書けず、顧問の先生に何度も指導していただきながら苦しい時期を過ごしました。書道に向き合う時に私が大切にしていることは、自分らしさをいかして表現するという事です。今回のような大作に挑戦することは初めてでした。「爨宝子碑」の力強い書体を際立たせるために、紙面構成にこだわり、余白の美しさや墨の濃淡に目を向けて枚数を重ねていくことで、今回の作品を書き上げることができました。改めて書道の楽しさを実感しました。今まで書道部と一緒に活動してきた仲間、顧問の先生、家族といった私を支えてくれたすべての人に「感謝」を捧げたいと思います。伊那弥生ヶ丘高校の書道部で活動できたことを誇りに今後も書道を続けていきたいと思っています。(8/27 信濃毎日新聞掲載記事より)



## ◆卒業生の進路状況(平成25年3月)

進路先	進 学							就 職			その他		合計
	国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	医看専門	他専門	計	公務員	民間	計	浪人	その他	
男	15	60	2	1	3	4	85	2	4	6	19	0	110
女	13	86	4	16	19	16	154	2	6	8	3	1	166
計	28	146	6	17	22	20	239	4	10	14	22	1	276
合格延数	31	319	9	28	35	22	444	4	10	14			

将来の進路を見据え、一人ひとりがしっかりと目標と意欲を持って日々努力しています。また、土曜休業完全実施の中で、休日における生徒の学習の機会の保障と学力向上、進路実現のため、学習室等を利用して「弥生塾」が設置されています。



## 編集後記

おかげ様で会報4号ができあがりました。今年度会報委員として、微力ながら関わらせていただき、有意義な時間を持てたことに感謝いたします。(向山)

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第4号 平成25年9月20日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 小坂博子

〒396-0026 長野県伊那市西町 5703 TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題 字：花岡多賀(旧姓：北林・高女36回)伊那市西春近在住

印 刷：有限会社マスマタ印刷